

**《千葉県DV防止・被害者支援基本計画（第4次）》
平成29年度施策 評価シート**

評価コード 1

施策の方向	多様な主体に向けた広報啓発の推進
担 当 課	男女共同参画課・児童家庭課

1 事業の概要

基本目標	I	施策の方向	1	施策の内容	DVの根絶に向けた啓発の充実
当初予算額(千円)			10,854	決算額(千円)	10,517
事業の概要・目的	1 多様な広報媒体を活用した効果的な広報啓発の充実（男女共同参画課・児童家庭課） 県民一人ひとりがDVは人権侵害であることを認識し、DVに関する正しい理解を深めることができるよう、県民だより等県の広報誌やテレビ・ラジオなど、多様な広報媒体を活用した効果的な広報を実施し、市町村に対しても積極的な広報を働きかける。 DVと児童虐待は密接に関連することから、広報啓発に当たっては、DV防止と児童虐待防止の啓発を関係部署が連携して実施し、啓発の効果を高めていく。				
	2 DV防止キャンペーンの充実（男女共同参画課・児童家庭課） 毎年11月12日から11月25日までの「女性に対する暴力をなくす運動」期間を中心に自治会の協力を得てリーフレットを回覧・配布するとともに、街頭でDV防止キャンペーンを実施し、民間支援団体と協働してリーフレットや啓発グッズ等を配布することにより、DV防止に向けて県民一人ひとりの意識を高めていく。				
数値目標など					
指標名等	-				
目標	-		実績	-	

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

1・2 男女共同参画課【当初予算854千円・決算518千円】	<ul style="list-style-type: none"> ・11月15日（水）そごう千葉店前広場、11月23日（木・祝）イオンモール八千代緑が丘において、県警、市、DV被害者支援団体、県内大学などの協力を得て街頭キャンペーンを実施した。両会場ともに県警音楽隊の演奏会、チーバくんなどのキャラクターの出演、また、八千代会場ではDV防止、児童虐待防止啓発のパネル展示、女性警察官による護身術の模範演技を行い、約4,000名にDV防止及び児童虐待防止の啓発物資等の配布を行った。 ・アパホテル東京ベイ幕張の協力を得て、客室窓の照明を利用した「NO!DV」の文字を表示する広報（パープルライトアップ）を実施（11月19日（日））し、ホテルロビーにおいて啓発チラシを配布した。 ・木更津かんらんしゃパーク キサラビアの協力を得て、パープルライトアップ（11月12日（日）、11月25日（土））を行った。 ・バスケットボールBリーグ千葉ジェッツふなばし（11月11日（土）、11月12日（日））、サッカーJリーグ柏レイソル（11月18日（土））、ジェフユナイテッド市原・千葉（11月19日（日））の協力を得て運動期間中に行われたリーグ戦のホームゲームにおいてオーロラビジョンにDV防止の画像を流す広報を行った。 ・船橋競馬場の協力を得てナイター競馬中のターフビジョンにDV防止の画像を流す広報（10月23日（月）～10月27日（金））、幕張メッセの協力を得て大型電光掲示板にDV防止の画像を流す広報（11月12日（日）～11月25日（土））を行った。 ・市町村を通じて啓発チラシ約92,000枚を自治会の回覧板を活用し供覧、配布した。
1・2 児童家庭課【当初予算10,000千円・決算9,999千円】	<ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールBリーグ千葉ジェッツふなばしの協力を得て期間中の11月12日（日）に行われたリーグ戦のホームゲーム（船橋アリーナ）において、児童虐待防止キャンペーンとしてブースを開設し、啓発物資を3000部配布した。 ・11月4日（金）に船橋市、11月11日（土）に柏市とのコラボレーション企画でのキャンペーンと11月22日（水）に津田沼駅、11月29日（水）に西船橋駅にて街頭キャンペーンを実施。啓発物資を合計5,500部配布した。 ・本事業の広報啓発イベントの受け皿として里親制度、児童虐待防止の特設サイトを開設。児童虐待防止のシンボルであるオレンジリボンからオレンジジュースを飲んでいいる動画又は写真とメッセージをSNSへ投稿し、繋げていくオレンジリボンリレーを企画運営した。 ・ラジオ放送局「BAYFM」にて期間である11月に毎日1回20秒のスポットCMを制作し、放送した。

(2) 評価（別紙視点参照）

<p>1・2男女共同参画課</p> <ul style="list-style-type: none">・主要駅前のそごう千葉店前広場や女性や家族連れの利用が多い大型ショッピングモールにて街頭キャンペーンを実施することで、様々な年代の女性、家族連れなど多く県民に啓発物資を配布することができた。・サッカー、バスケットボールという若者に人気の高いスポーツの試合会場や、多くの人が集まる競馬場や幕張メッセなどで広報を行うことで、多くの県民に対して広報することができた。・啓発チラシの回覧については、DVが社会問題化していることもあり、市町村からの配布希望も多く、予想より多く配布することができた。 <p>1・2児童家庭課</p> <ul style="list-style-type: none">・デザイン性のある啓発グッズが作成できたほか、啓発イベントではSNSを活用して新しいルートからの啓発を実施することができた。・ラジオCMを聞いて里親制度に興味を持った、登録を検討している等の声が聞かれたため、一定の効果があったと見込んでいる。

3 課題及び改善すべき点はあるか、ある場合、今後どのように対応していくのか。

<p><課題・改善すべき点></p> <p>1・2男女共同参画課</p> <p>ターミナル駅前や家族連れの集客が見込めるショッピングモールでキャンペーンをすることで広報の効果が高まることから、今後も、場所、曜日、時間帯を勘案してキャンペーンを実施する。</p> <p>1・2児童家庭課</p> <ul style="list-style-type: none">・キャンペーンの内容が固定化しつつあることから、広報啓発の対象者が広がるよう、新たな取組を検討する。・市町村が乳幼児健診をする際に使用することを目的とし、リーフレットとクリアファイルを新たに追加し、母子保健の観点から虐待防止につなげていく。 <p><今後の方針></p> <p>1・2DVと児童虐待は密接な関係にあることから、キャンペーン等においては引続き連携するとともに、より効果的な広報を実施し、DV・児童虐待防止に向けた機運を醸成していく。</p>

4 委員意見

<p>SNSの活用など、様々なメディアを駆使して、ファミリー層から若い世代、男性に向けても広報啓発を実施したことを評価したい。即効的な効果は期待できない事業ではあるが、今後も工夫しながら継続することで、DVや虐待が人権侵害であることの認識率の向上に繋がることを期待する。また、広報活動の効果をより高めるために、DV防止対策部署と児童虐待防止対策部署の連携は更に強化してほしい。</p>
--